

ポスター発表の評価規準

大項目	小項目	S	基準 A	基準 B	C
ポスター そのもの	内容		ポスターに記述すべき内容がすべて網羅されている。	ポスターに記述すべき内容が1つないしは2つ不足しており、不十分である。	
	見やすさ		字・図表が遠くからでもわかる、情報過多でないなど、見やすい工夫がされている。	見やすさについて改善すべき点がある。	
	ながれ		説明がなくても内容が理解できる、論理構成に矛盾がないなど、構成に問題がない。	分かりにくい部分や論理構成に不十分な点がある。	
研究内容	独創性 新規性		独創性や新規性があり、興味をひかれる。	独創性や新規性に乏しい。	
	目的 仮説		研究の目的や仮説が先行研究等を踏まえたものとなっており、研究の意義が理解できる。	研究の目的や仮説は示されているが、先行研究等との関係や研究の意義について不十分である。	
	手法		研究方法（実験方法や調査方法）が研究目的に沿ったものであり、適切なデータが十分な量で得られている。	研究方法（実験方法や調査方法）は研究目的に沿ったものであるが、データの適切さやその量が不十分である。	
	分析		研究結果に基づいて適切な方法で分析を行っており、グラフや図、表なども用いて適切に表現できている。	研究結果に基づいて分析を行っているが、分析が不十分である。または、グラフや図、表など、適切な表現が不足している。	
	考察 結論		研究結果に基づいた考察および研究目的に沿った考察がされたり、考察による結論が適切に導かれている。	考察や結論が十分にされていない。もしくは、研究結果や研究目的を反映した考察や結論ではなく、一部ずれたものになっている。	
発表	説明 態度		聴衆を意識した説明である。また、話し方や身振りなど表現が工夫されており、分かりやすい。	ポスターに書いていることやメモなどを読み上げているなど、説明や態度に改善すべき点がある。	
	時間		質疑応答の時間も考えた適切な発表時間である。	長すぎたり短すぎたりなど、発表時間の長さが適切でない。	
	質疑応答		質問を正しく理解し適切に回答している。	質問正しく理解しているが、回答には不十分な点もしくは余分な点がある。	

※評価基準 S は、評価基準 A よりもさらに高いと評価できる場合に S とする。

※評価基準 C は、評価基準 B よりも低い評価しかできない場合に C とする。